

小児看護学実習

[実習] 第3学年 後期 必修 2単位

《担当者名》 三国 久美 mikuni@hoku-iryo-u.ac.jp 木浪 智佳子 川崎 ゆかり 谷本 真唯

【概要】

小児科病棟、障がい児(者)関連施設、小児科外来で実習することにより、様々な健康レベルの子どもに対する援助を体験する。

【学修目標】

1. 子どもと関わる体験を通して、成長・発達過程にある子どもの特徴を理解できる。
2. 疾患や障がいをもちながら暮らす子どもと家族の状況を理解し、子どもの発達段階と健康レベルに応じた看護を実践する基礎的能力を身につけることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週目	小児科病棟実習	入院している子どもを受け持ち、看護過程を展開する	三国・木浪・川崎・谷本
2週目	障がい児(者)関連施設実習 もしくは小児科外来実習	障がいをもつ子どもの生活の実際を通して看護の役割を考える 小児科外来を受診する子どもと家族への看護の役割を考える	三国・木浪・川崎・谷本
	まとめ	小児科病棟および障がい児(者)関連施設/小児科外来実習での学びを振り返ることにより、実習目標の達成状況と今後の課題を明確にする	

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

以下の配分により、事前学習、実習目標達成度、記録物の内容・提出状況、実習参加態度を総合して評価する。

- ・小児科病棟実習 90%
- ・障がい児(者)関連施設実習/小児科外来実習 10%

【教科書】

小児看護学、小児病態論、小児看護学演習で用いた教科書

【参考書】

実習前課題である事前学習ノートに参考書一覧を掲載

【学修の準備】

事前学習ノートを整理し、臨地実習で活用できるように準備する。

小児看護学および小児病態論(2年次)、小児看護学演習(3年次)の学習内容から受持ち患児の疾患や発達、看護に関する範囲を予習しておくこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実習方法】

実習期間：3年後期の指定された2週間。

- 1クール目：2023年9月11日(月)～9月22日(金)
- 2クール目：2023年11月6日(月)～11月17日(金)
- 3クール目：2024年1月9日(火)～1月19日(金)
- 4クール目：2024年1月22日(月)～2月2日(金)
- 5クール目：2024年2月5日(月)～2月16日(金)
- 6クール目：2024年2月19日(月)～3月1日(金)

実習施設：＜小児科病棟実習＞ 北海道大学病院、札幌厚生病院、JCHO北海道病院、手稲溪仁会病院、札幌徳洲会病院、済生会小樽病院みどりの里、医療福祉センター札幌あゆみの園
＜障がい児（者）関連施設実習＞ 大倉山学院、北海道立子ども総合医療・療育センター、児童デイサービスセンターamaririsu・kaede、児童発達支援センター たくあいアクティビティ「むら（夢）」・「ひびき（響）」、訪問看護ステーションあみえる
＜小児科外来実習＞ 北海道医療大学病院

【実務経験】

三国 久美（保健師）、木浪 智佳子（看護師）、川崎 ゆかり（看護師）、谷本 真唯（看護師）

【実務経験を活かした教育内容】

小児看護学及び母子保健の実務経験を通じて得た知識・技術・態度を活用し、実践的な教育を行う。